

目的と概略

生産性の向上による地域課題の解決と新たな価値創造に向けてICT(IoT)を活用した取組みは着実に進んでいます。総務省においても「地域IoT実装推進ロードマップ」を公表するとともに様々な支援策を展開し推進を図っています。

スマートフォン、センサー機器の普及も進みICT活用事例がマスコミなどで多く取り上げられるようになりました。

弊会では、研究活動を通じて各団体で取り組まれている取組事例及びAPPLICでのタスクフォース活動の様子を紹介し各団体での課題解決にお役立ていただくことを目的に事例を整理いたしました。

特集1.1は、Wi-Fi等ICT環境整備タスクフォースで今年度研究調査をした事例の中から全国の自治体向けにご紹介すべきと考えた事例を掲載しています。

単にインターネット接続用にWi-Fiインフラを整備するにとどまらず更なる利活用に向けて努力をされている事例をご紹介します。

自治体の整備するWi-Fiも数多く見られるようになりましたが、先導的な自治体においても様々な課題が見られます。次期更改費用が高額であること、運用費が高額であること。また、OSのバージョンアップに伴い接続性の担保が十分ではないこと。同時接続可能数が少なく通信速度が十分でないこと。ユーザから見た時には全国統一認証が実現できないこと。認知度を上げるための地域連携したPR方法等。今年度実施したヒアリングにおいても散見されており解決が急がれます。

特集1.2は、ICT利活用タスクフォースの今年度活動からコアな部分を整理して掲載しています。本活動はAPPLICの中でも新しいタイプの活動であることから活動内容を知っていただく目的で掲載しました。今後、公表予定の映像ツールと合わせてご覧いただければ幸いです。

特集2は例年通り総務省が表彰した優良事例についてご寄稿いただいたものを掲載します。